



# 東京薬科大学新聞

Tokyo University of Pharmacy and Life Science NEWS

発行・東京薬科大学新聞会 責任者・山本 剛

〒192-0355 東京都八王子市堀之内1432-1

TEL 0426-76-6679

2002年5月号

(平成14年5月26日発行)

第229号

## 新聞会編集スタッフ募集中

当委員会では、紙面リニューアルによる業務拡大に伴い、新聞編集部員を若干名募集しております。編集作業だけでなく、ライター、イラストレーター、DTPオペレーターも同時に募集です。自分のスキルを新聞製作の現場で活かして見ませんか？初心者も大歓迎です。興味を持たれた方は部室棟2階新聞会室まで、気軽に遊びに来てください。

## 第八十七回 薬剤師国家試験結果発表

三月二十三三二十四日に実施された「第八十七回薬剤師国家試験」の合格榜が発表されました。本学の結果は以下の通りです。また、今回の国家試験結果とこれからの動向について概要でお話を伺いました。

今回の国家試験では全体的に合格率が上がった。本校の合格率も例外ではなく、十位に留まり、昨年度の九位とほぼ同じ結果となつた。(表①)

新卒合格率は増加した。しかし、全国四十六大学の中位に留まり、昨年

の合格率も例外でなく、(表②)

全国的に見て、国家試験合格率を主眼において、私立

女子部衛生薬学科の不合格者が増加した事が目に付く。(表③)

最近の国公立大学は「医療に直接貢献する人物の育成」に重点を置いており、

ところが増えてきているためか、その合格率は躍進的な増加をみている。これに加えて、既に国家試験の改訂が予定されており、現

2年生が受験する頃大きな変化が再び訪れる可能性が高い。これは「薬学部六年化」を念頭に、時代の変化にあつた薬剤師を育てるためのカリキュラムである

だろう。そのため、近々なされる改訂は「問題の難易度の変化」だけではなく、傾向の変化」にも注目した方がよいだろう。

大学側としても、今まで通り国試結果を分析し、各分野での弱点対策、分析を行っていく考えである。特に四年時に三回に分けて行われる卒業試験に注目している。この試験での得点率は直接的に国家試験の合格率と関係している。国家試

験不合格者が少ないとはい

う。そこで、学生のうちに

高い視野で色々な社会を

見ておく必要があるじよ

&lt;p





